

くぎゅう だいら 九久平

九久平自治区データ

(H27年10月1日現在/市HPより)

| | |
|----------------------|------------|
| 世帯数：315世帯 | 自治区戸数：285戸 |
| 人口：965人 | 組数：13組 |
| 平均年齢：43.01歳 | 高齢化率：20% |
| 面積：188.2ha | |
| 小学校区：九久平小学校 | |
| 自治区たより：広報 九久平 | |
| 集会所：九久平公民館（平成16年度建築） | |



3本の曲線は、九久平を流れる川（巴川、滝川、山中川）を表現。5枚の桜の花びらは、川の沿いに桜の木があり、その桜の花びらを、九久平の5つの地域（九久平、日向、菅沼、山中、九久平団地）を表現しました。



九久平山湊について

岡崎から足助へ通じる足助街道は、江戸時代よりあり七里街道と呼んでいた。巴川を利用して岡崎と足助の南北の結びつきが強く、その中間に九久平があって地形的に良いので、「九久平山湊」ができた。

- ・湊は、割り石～旧港橋間に2～3ヶ所
- ・巴川舟運の発着点で集積地として繁栄
- ・周囲には、松生嶋、流れ橋、問屋、九久平土場、平古土場がある
- ・寛文時代～大正中ごろまで約240年続いた

九久平東部は奥が深く、下山村、大沼、新城、足助、盛岡村などから集まってきた炭、材木、竹、たばこ、粟、しいたけ、柿などを「九久平山湊」でまとめて、舟で下流に送り出された。

下流の、岡崎、大浜、武豊、半田などからは、塩、塩魚、海藻、陶器、米、味噌、綿、酒、酢、雑貨などの生活物資を馬の背、馬車、大八車で山間部へ運ばれた。ここは塩尻、太平洋からの終点地にあたる。

明治末頃、九久平の店は50店舗以上あり、物品が揃っていた。九久平は大いに賑わっていた。

大正の中期ごろより車が使われるようになり、次第に川舟、馬が少なくなっている。

昭和35年ごろより、自動車産業の発展に伴い、豊田市との結びつきが強くなり、昭和45年に松平町は豊田市と合併した。

(松平町誌より)



名所・旧跡

●松生嶋

巴川最大の島で岡崎・足助間七里街道での景勝として枝ぶりの良い松が、生い茂った所からこの名が有ると言う。河川の神弁財天をまつる祠のあるこのお宮の祭りは、7月18日ごろ、ほこ舟が浮かび「金魚花火」などがあって、近隣の人々でにぎわう大祭であったが、昭和16年頃からこの行事は中止され、今ではその年の農産物の出来ばえを占う祭り「花の擣」おためし祭りが毎年5月10日に行われている。



また、社の傍らに自然石の石碑には、芭蕉の句と言われ「枯れ枝に 鴉のとまりたり 秋の暮」と刻まれている。これは芭蕉が元禄のころに立ち寄った記念碑と伝わっている。なお「鮎汲むや 七里街道 松生嶋」と如風の句も残っている。

●岩谷山

全山が露出した花崗岩の巨岩でできていて、絶壁もある。岩が重なり接し合いその間に空間があり弘法大師や観音菩薩が祀ってある。山頂からの眺めは素晴らしく、フリークライミングの練習場としても親しまれている。



●豊田 名木の森

松平コミュニティセンターから南100m、県道西沿いの喫茶店付近にある。樹種は、イチヨウ、ケヤキ、エノキ、クスノキなどが生える。

エノキの枝に数多くのヤドリギが着生し特異な景観である。季節になると、カワセミ、ヤマセミ、キレンジャク、ヒレンジャクなどが飛来するので、カメラ、望遠鏡を持った方々が、バードウォッチングを楽しんでいる。



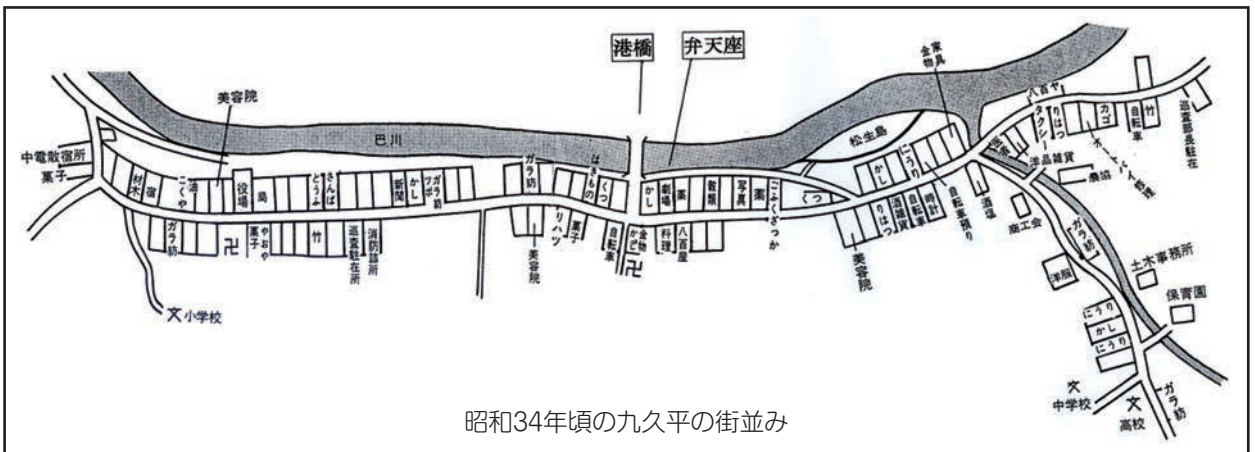
◆ 九久平自治区民憲章 ◆

わたしたちは「豊田市民の誓い」を遵守することに心掛け、子どもから高齢者まで心ひとつにして、「安心・安全」で明るく元気なまちづくりをめざします



九久平の課題

- 九久平旧道沿いの高齢化が進み、一人暮らしの家が増えている。
- 子どもの数が減っている。



昭和34年頃の九久平の街並み



行事・おまつり

①金魚花まつり（松生嶋のお祭りが起源）

大正初期に荒れた松生嶋を整備し、7月17日の祭礼日に、館舟二双に赤ちょうちんを飾り付け、松生嶋と港橋間を上下した。舟中では、青年団がお囃子をし、大筒、小筒、乱玉などの花火を打ち上げた。その花火を玉箱に入れ、九久平神明宮からトンボを担いで、通りを練り歩き松生嶋へまで運んだ。

戦後から昭和30年頃は『花火大会』と呼ばれていた。2、3年に一度開催されていたが、30年半ばに諸般の事情により中止となった。この当時の金魚花火は、鉄筒に金魚花火を入れ発射するもので、川ではなく陸に飛んで行く物もあったと言われている。（現在は、手で川に投げ入れている）

平成9年に、新港橋が架かりその記念に一度復活開催したが、平成16年に再復活し、『松平地区金魚花火』として、松平全域の協力のもと現在に至っている。

- ②ふれあい秋まつり（神明宮にて）
- ③長寿を祝う会
- ④年越し接待（神明宮にて）他



長老コメント

【松生嶋の思い出】 昭和23年頃下記のような催事がありました。

- 1、巫女舞い
- 2、「花のとう」（おためし）現在も継続中
- 3、子ども相撲（小学生）
- 4、弓道大会（大人）
- 5、露店の出店（金魚すくい・綿菓子・おもちゃ等）

松平全域は勿論、佐切・霧山・古瀬間・奥殿・桑原・大見などから見物客で大賑わいでした。（※S氏より）

